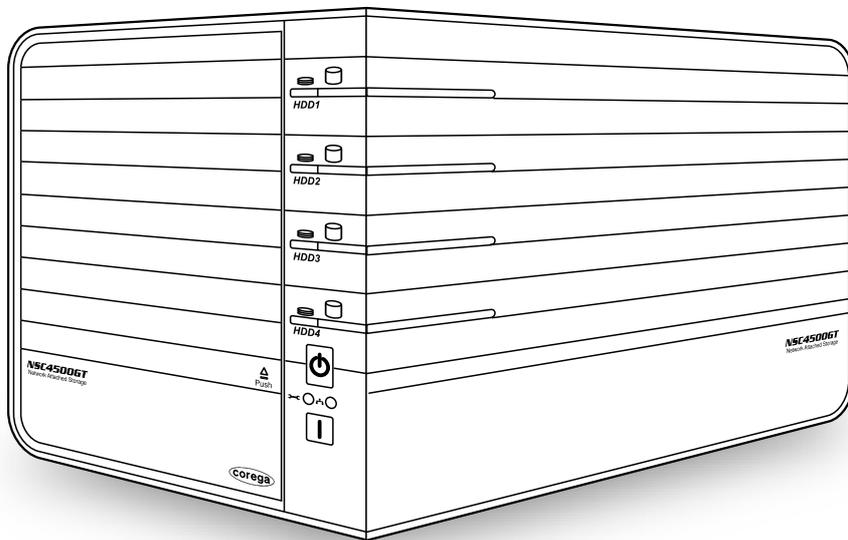




# CG-NSC4500GT 詳細設定ガイド



## Contents

設定画面の詳細説明

1

設定の手順

2

Q&A

Q&A

# はじめに

---

このたびは、「CG-NSC4500GT」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
本書は本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。  
また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<http://corega.jp/>

## 本書の読み方

---

### ■記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。		補足事項や参考となる情報を説明しています。
---	--------------------------------	---	-----------------------

### ■表記について

本商品	CG-NSC4500GT のことです。
「 」 - 「 」 - 「 」	「 」 で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[ ]	[ ] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：  → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista™ Home Basic、Microsoft® Windows Vista™ Home Premium、Microsoft® Windows Vista™ Business および Microsoft® Windows Vista™ Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 operating system

※本書では、複数の OS を「Windows Vista/XP/2000」のように併記する場合があります。

### ■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

## マニュアルの種類と使い方

---

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる状況に合わせて、それぞれのマニュアルをご覧ください。

### ■取扱説明書（冊子）

安全にお使いいただくためのご注意、本商品を使い始めるまでのセットアップ作業について説明しています。また、「Q&A」ではセットアップ時によくあるトラブルとその対処方法を説明しています。

### ■詳細設定ガイド（本書：PDF マニュアル）

各機能の使用方法・設定方法について詳細に説明しています。

# 目次

はじめに .....	2
本書の読み方 .....	3
マニュアルの種類と使い方 .....	4
目次 .....	5
<b>第 1 章</b>	
<b>設定画面の詳細説明 .....</b>	<b>7</b>
1.1 ログイン画面 .....	8
1.2 設定画面 (トップページ) .....	9
1.3 設定ウィザード .....	10
1.4 ユーザ/グループ管理 .....	17
1.4.1 ユーザ管理 .....	17
1.4.2 グループ管理 .....	19
1.4.3 アクセス容量設定 .....	21
1.5 フォルダ/プリンタ設定 .....	23
1.5.1 サービス設定 .....	23
1.5.2 フォルダ設定 .....	26
1.5.3 アクセス設定 .....	29
1.6 RAID 設定 .....	32
1.6.1 RAID 設定 .....	32
1.6.2 ディスクアレイステータス .....	36
1.7 バックアップ設定 .....	37
1.7.1 バックアップ設定 .....	37
1.7.2 レプリケーション設定 .....	39
1.8 ネットワーク設定 .....	42
1.9 システム管理 .....	45
1.9.1 サービスステータス .....	46
1.9.2 イベントログ .....	46
1.9.3 メールアラート .....	46
1.9.4 ファームウェア更新 .....	49
1.9.5 警告音設定 .....	50
1.9.6 UPS (無停電電源装置) 設定 .....	51
1.9.7 日付/時間設定 .....	52
1.9.8 再起動/シャットダウン設定 .....	54
1.9.9 システム保護 .....	54
1.9.10 システムステータス .....	56

---

<b>第2章</b>	
<b>設定の手順</b> .....	<b>57</b>
2.1 ネットワークドライブの割り当て .....	58
2.1.1 作業の前に .....	58
2.1.2 Windows Vista .....	59
2.1.3 Windows XP .....	62
2.1.4 Windows 2000 .....	64
2.1.5 Macintosh .....	66
2.2 ゴミ箱機能について .....	68
2.2.1 はじめに .....	68
2.2.2 Windows Vista .....	68
2.2.3 Windows XP .....	69
2.2.4 Windows 2000 .....	70
2.2.5 ファイルを元に戻す .....	70
2.2.6 ファイルを完全に削除する .....	70
2.3 プリントサーバの設定 .....	71
2.3.1 はじめに .....	71
2.3.2 Windows Vista .....	73
2.3.3 Windows XP .....	74
2.3.4 Windows 2000 .....	76
<b>第3章</b>	
<b>Q&amp;A</b> .....	<b>79</b>
3.1 トラブル対処の方法 .....	80
3.2 RAID 構築時／再構築時のトラブル .....	81
3.3 ファイルを削除しても空き容量が増えない .....	82
3.4 パソコンのIPアドレスがわからない .....	83
3.5 パソコンのIPアドレスを設定する .....	84
<b>付録</b> .....	<b>89</b>
RAIDとは .....	90
おことわり .....	94

# 第 1 章

## 設定画面の詳細説明

この章では、本商品で設定できる機能について説明します。

1.1 ログイン画面 .....	8
1.2 設定画面（トップページ） .....	9
1.3 設定ウィザード .....	10
1.4 ユーザ／グループ管理 .....	17
1.4.1 ユーザ管理 .....	17
1.4.2 グループ管理 .....	19
1.4.3 アクセス容量設定 .....	21
1.5 フォルダ／プリンタ設定 .....	23
1.5.1 サービス設定 .....	23
1.5.2 フォルダ設定 .....	26
1.5.3 アクセス設定 .....	29
1.6 RAID 設定 .....	32
1.6.1 RAID 設定 .....	32
1.6.2 ディスクアレイステータス .....	36
1.7 バックアップ設定 .....	37
1.7.1 バックアップ設定 .....	37
1.7.2 レプリケーション設定 .....	39
1.8 ネットワーク設定 .....	42
1.9 システム管理 .....	45
1.9.1 サービスステータス .....	46
1.9.2 イベントログ .....	46
1.9.3 メールアラート .....	46
1.9.4 ファームウェア更新 .....	49
1.9.5 警告音設定 .....	50
1.9.6 UPS（無停電電源装置）設定 .....	51
1.9.7 日付／時間設定 .....	52
1.9.8 再起動／シャットダウン設定 .....	54
1.9.9 システム保護 .....	54
1.9.10 システムステータス .....	56

## 1.1 ログイン画面

---

本商品に接続するとログイン画面が表示されます。



### ①ユーザ名

本商品のユーザ名を入力します（初期値：admin）。

### ②パスワード

本商品のパスワードを入力します（初期値：admin）。

### ③【ログイン】

ユーザ名とパスワードを入力したあとでクリックするとログインします。設定画面からログアウトしたときは、[再ログイン] に表示が変わります。

## 1.2 設定画面（トップページ）

ログインすると設定画面（トップページ）が表示されます。



### ①メニュー

設定するとき使用するメニューです。

メニューの左にあるをクリックすると、詳細なメニューが表示されます。メニューをクリックすると設定画面が開きます。

### ②ファームウェアバージョン

本商品のファームウェアのバージョンです。

### ③ログアウト

クリックするとログアウトします。

### ④ Quick Link

①でメニュー名をクリックすると、詳細なメニューが表示されます。メニューをクリックすると設定画面が開きます。

## 1.3 設定ウィザード

設定ウィザードでは、簡単に本商品の設定ができます。設定の手順を説明します。

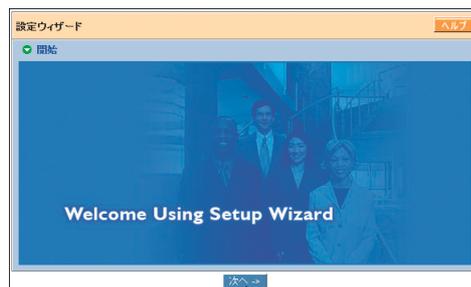
### 1 「Quick Link」の「設定ウィザード」をクリックします。

または、左側メニューの「設定ウィザード」の横にあるをクリックし、「設定ウィザード」をクリックします。



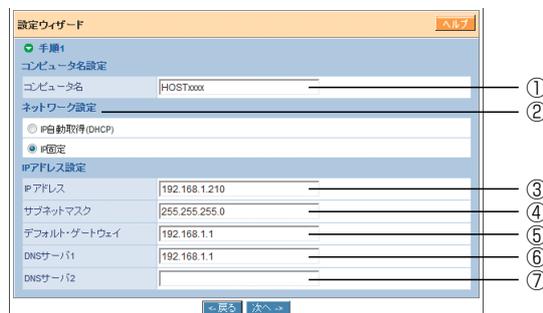
クリックします

### 2 「次へ」をクリックします。



クリックします

### 3 ネットワーク設定をします。設定したら「次へ」をクリックします。



クリックします

※画面は「IP 固定」の例です。

### ① コンピュータ名

ネットワーク上に表示されるコンピュータ名を入力します。半角英数字および記号で、15文字以内で入力してください。

### ② ネットワーク設定

「IP 自動取得 (DHCP)」または「IP 固定」のどちらかを選択します。  
「IP 固定」を選択すると、IP アドレス設定 (③～⑦) が表示されます。



お使いのネットワークの設定や設定用パソコンの IP アドレスがわからない場合は、P.83 「3.4 パソコンの IP アドレスがわからない」をご覧ください。

### ③ IP アドレス

IP アドレスを入力します (初期値: 192.168.1.210)。

### ④ サブネットマスク

サブネットマスクのアドレスを入力します (初期値: 255.255.255.0)。

### ⑤ デフォルト・ゲートウェイ

デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します (初期値: 192.168.1.1)。

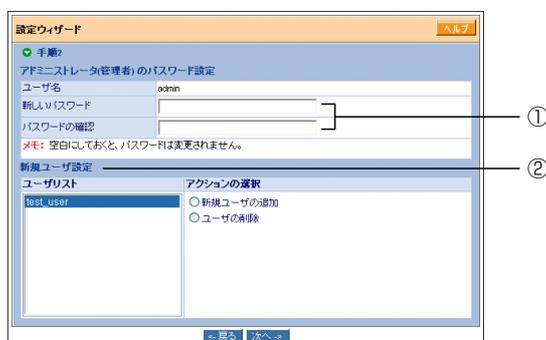
### ⑥ DNS サーバ 1

プライマリ DNS サーバのアドレスを入力します (初期値: 192.168.1.1)。

### ⑦ DNS サーバ 2

セカンダリ DNS サーバのアドレスを入力します (初期値: なし)。

## 4 パスワード設定、新規ユーザ設定をします。設定したら [次へ] をクリックします。



### ①新しいパスワード、パスワードの確認

変更するパスワードを入力します。半角英数字および記号で、16 文字以内で入力してください。

空白にすると初期値 (admin) のまま変更されません。

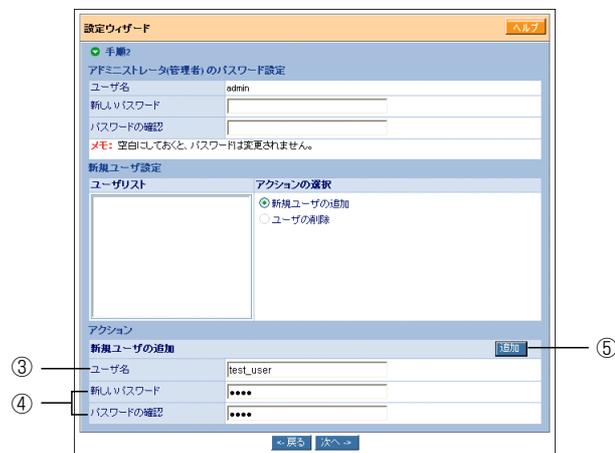
### ②新規ユーザ設定

必要に応じて「新規ユーザの追加」または「ユーザの削除」を選択します。

新規ユーザの追加、ユーザの削除は、P.17 「1.4.1 ユーザ管理」でも設定できます。

#### ・ 新規ユーザ設定

②で「新規ユーザの追加」を選択すると新規ユーザを作成できます。



### ③ユーザ名

新しいユーザ名を入力します。半角英数字および記号で、16 文字以内で入力してください。

### ④新しいパスワード、パスワードの確認

パスワードを入力します。半角英数字および記号で、16 文字以内で入力してください。

空白にする (パスワードを設定しない) ことはできません。

### ⑤ [追加]

クリックすると新規ユーザを作成してユーザリストに追加します。

## ・ユーザの削除

②で「ユーザの削除」を選択するとユーザを削除できます。



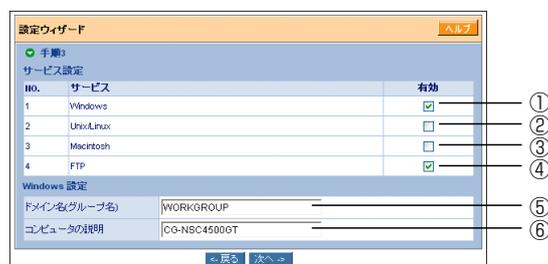
### ⑥ユーザ名

削除するユーザを選択します。

### ⑦ [削除]

クリックすると選択したユーザをユーザリストから削除します。

## 5 サービス設定、Windows 設定をします。設定したら [次へ] をクリックします。



クリックします

### ① Windows

フォルダを Windows で共有するときに、「有効」にチェックを付けます。

### ② UNIX/Linux

フォルダを UNIX または Linux で共有するときに、「有効」にチェックを付けます。

### ③ Macintosh

フォルダを Macintosh で共有するときに、「有効」にチェックを付けます。

#### ④ FTP

フォルダを FTP サーバとして使用するとき、「有効」にチェックを付けます。

#### ⑤ ドメイン名 (グループ名)

Windows ネットワークのドメイン名またはワークグループ名を入力します (初期値 : WORKGROUP)。半角英数字および記号で、15 文字以内で入力してください。

#### ⑥ コンピュータの説明

ネットワーク上で表示されるコンピュータの説明 (コメント) を入力します。半角英数字および記号で、64 文字以内で入力してください。

### 6 フォルダを設定します。設定したら [次へ] をクリックします。



#### ① フォルダリスト

作成されているボリュームとフォルダを表示します。

#### ② アクションの選択

必要に応じて「新規フォルダの追加」または「フォルダの削除」を選択します。

新規フォルダの追加、フォルダの削除は、P.26 「1.5.2 フォルダ設定」でも設定できます。

#### ・ 新規フォルダの追加

②で「新規フォルダの追加」を選択すると新規フォルダを作成できます。



#### ③ ボリュームラベル

フォルダを追加するボリュームを選択します。お使いの環境によっては「VOLUME1」のみ表示されます。

#### ④ フォルダ名

フォルダ名を入力します。

### ⑤ ファイルシステムの共有

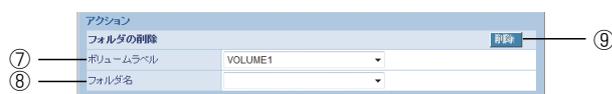
共有で使用する OS にチェックを付けます。手順 5 でチェックを付けた OS には「オン」が、チェックを付けていない OS には「オフ」が表示されます。

### ⑥ [追加]

クリックすると新規フォルダを作成します。

#### ・フォルダの削除

②で「フォルダの削除」を選択するとフォルダを削除できます。



#### ⑦ ボリュームラベル

削除するフォルダのあるボリュームを選択します。お使いの環境によっては「VOLUME1」のみ表示されます。

#### ⑧ フォルダ名

削除するフォルダを選択します。

### ⑨ [削除]

クリックすると選択したフォルダをフォルダリストから削除します。



フォルダを削除すると、フォルダ内に保存されたデータも削除されます。

## 7 RAID 設定をします。設定したら [次へ] をクリックします。



クリックします

#### ① RAID レベル

RAID レベルを選択します。お使いの環境によって選択できる RAID レベルが異なります。RAID についての詳細は、P.32 「1.6.1 RAID 設定」 および P.90 「RAID とは」 を参照してください。

## ②空きディスク

使用していないハードディスクを表示します。

ハードディスクを選択し、>>をクリックして、RAID 追加ディスクに移動します。

## ③ RAID 追加ディスク

使用するハードディスクを表示します。

ハードディスクを選択し、<<をクリックすると、空きディスクに戻すことができます。



ソフトウェアを使用してすでにボリュームを作成している場合は、現在の RAID 構成が表示されるだけで、RAID 構成を変更することはできません。

RAID 構成を変更するには、P.32 「1.6.1 RAID 設定」をご覧ください。

## 8 [終了] をクリックします。

本商品の設定を開始します。



クリックします



RAID の構成には時間が掛かります。「System busy」と表示されている間は、絶対に本商品の電源を切ったり、パソコンをシャットダウンしたりしないでください。

本商品やハードディスクが故障するおそれがあります。

## 9 画面が変わったらブラウザを閉じ、再度ログインします。正常にログインできることを確認してください。

以上で、設定ウィザードは終了です。

## 1.4 ユーザ／グループ管理

ユーザ／グループ管理メニューでは、次の設定ができます。

- ・ ユーザ管理

パスワードの変更、ユーザの追加、削除などができます。

- ・ グループ管理

グループにユーザを登録したり、グループを作成・削除したりできます。

- ・ アクセス容量設定

グループごとやユーザごとに、使用する容量を制限できます。

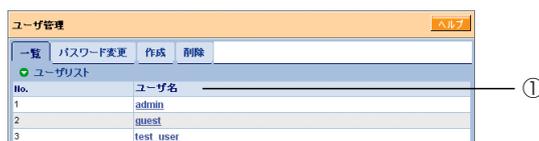


### 1.4.1 ユーザ管理

ユーザ管理には、「一覧」、「パスワード変更」、「作成」、「削除」の設定画面があります。

#### ■ユーザ管理：一覧

ユーザリストが表示されます。



#### ①ユーザ名

ユーザ名を表示します。ユーザ名をクリックすると、そのユーザのパスワード変更画面を表示します。



- ・ guest (ゲスト) アカウントのパスワードは変更できません。
- ・ guest (ゲスト) アカウントのパスワードは「guest」です。

## ■ユーザ管理：パスワード変更

パスワードを変更できます。



### ①ユーザ名

パスワードを変更するユーザを選択します。

一覧でユーザ名をクリックした場合は、そのユーザが表示されます。

### ②パスワード、パスワードの確認

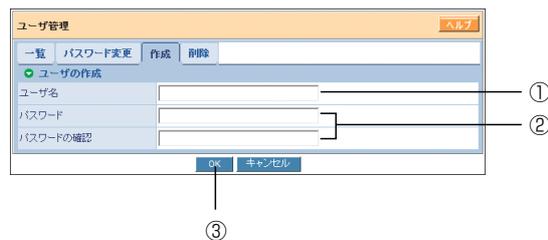
パスワードを入力します。半角英数字および記号で、16文字以内で入力してください。  
空白にする（パスワードを設定しない）ことはできません。

### ③ [OK]

設定を有効にします。

## ■ユーザ管理：作成

新規ユーザを作成できます。



### ①ユーザ名

ユーザ名を入力します。半角英数字および記号で、16文字以内で入力してください。

### ②パスワード、パスワードの確認

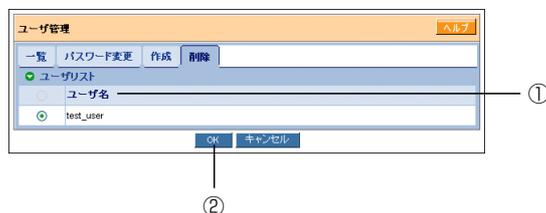
パスワードを入力します。半角英数字および記号で、16文字以内で入力してください。  
空白にする（パスワードを設定しない）ことはできません。

### ③ [OK]

ユーザを作成します。

## ■ユーザ管理：削除

ユーザを削除できます。



### ①ユーザ名

ユーザを選択します。admin（管理者）および guest（ゲスト）は削除できません。

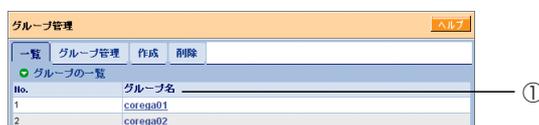
### ② [OK]

ユーザを削除します。

## 1.4.2 グループ管理

グループ管理には、「一覧」、「グループ管理」、「作成」、「削除」の設定画面があります。

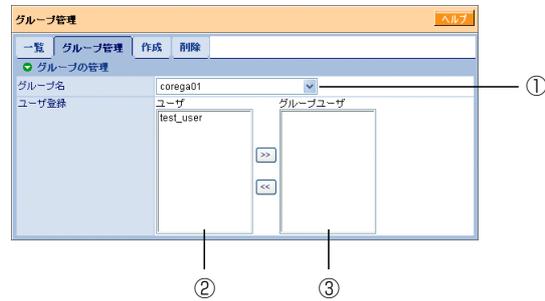
## ■グループ管理：一覧



### ①グループ名

グループ名を表示します。グループ名をクリックすると、そのグループのグループ管理画面を表示します。

## ■グループ管理：グループ管理



### ①グループ名

ユーザを登録したり、ユーザを削除するグループを選択します。

一覧でグループ名をクリックした場合は、そのグループが表示されます。

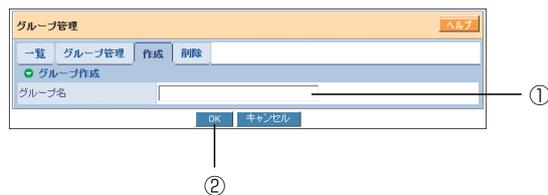
### ②ユーザ

登録するユーザを選択し、>>をクリックすると、①で選択したグループにユーザが登録されます。

### ③グループユーザ

①で選択したグループに登録されたユーザが表示されます。ユーザを選択し、<<をクリックすると、グループから削除されます。

## ■グループ管理：作成



### ①グループ名

グループ名を入力します。

### ② [OK]

グループを作成します。

## ■グループ管理：削除



### ①グループ名

削除するグループを選択します。

### ② [OK]

選択したグループを削除します。

## 1.4.3 アクセス容量設定

アクセス容量設定には、「ステータス」、「設定」の設定画面があります。

### ■アクセス容量設定：ステータス

グループとユーザ	ボリューム	アクセス容量設定	使用量	空き容量	使用率
@p1	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
@p2	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
@p3	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
@p4	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
guest	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t10	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t11	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t12	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t13	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t14	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t15	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t1	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t2	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t3	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t4	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t5	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t6	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t7	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t8	VOLUME1	無制限	0.00 MB		
t9	VOLUME1	無制限	0.00 MB		

### ①ボリューム

アクセス容量設定の一覧を表示するボリュームを選択します。

### ②割当情報の一覧

グループまたはユーザに割り当てられている容量、使用量などを表示します。

## ■アクセス容量設定：設定



### ①ボリューム

ボリュームを選択します。

### ②グループとユーザ

アクセス容量を設定するグループまたはユーザを選択します。グループ名の前には「@」が付いています。

### ③容量の設定

- ・ 無制限  
容量の制限をしません（初期値）。
- ・ 容量設定  
最大容量を指定できます。MB 単位で入力します。

### ④ [OK]

設定を有効にします。ステータス画面で設定を確認してください。

## 1.5 フォルダ／プリンタ設定

フォルダ／プリンタ設定メニューでは、次の設定ができます。

- ・ サービス設定

使用する OS のサービスを設定します。また、FTP サーバ、プリントサーバの設定もできます。

- ・ フォルダ設定

フォルダを作成・削除できます。

- ・ アクセス設定

グループごとやユーザごとに、アクセス権限を設定できます。



### 1.5.1 サービス設定

サービス設定には、「Windows」、「UNIX / Linux」、「Macintosh」、「FTP」、「プリントサーバ」の設定画面があります。

※ 「DLNA サーバ」画面は使用できません。

#### ■ サービス設定：Windows



#### ① サービス

- ・ 有効

Windows マシンで本商品のボリュームにアクセスできます。

- ・ 無効

Windows マシンで本商品のボリュームにアクセスできません。

## ②コンピュータ名

本商品に設定されているコンピュータ名を表示します。

## ③コンピュータの説明

ネットワーク上で表示されるコンピュータの説明（コメント）を入力します。半角英数字および記号で、15 文字以内で入力してください。

## ④メンバ

- ・ AD ドメイン  
AD (Active Directory) ドメイン環境で使します。
- ・ ワークグループ  
ワークグループ環境で使します。

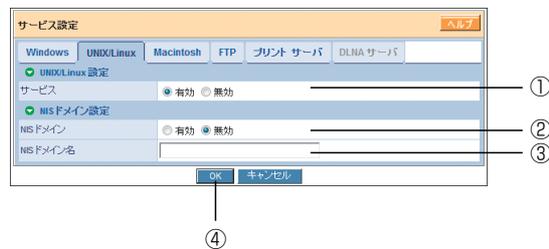
## ⑤ドメイン名／グループ名

ドメイン名またはワークグループ名を入力します。半角英数字および記号で、64 文字以内で入力してください。

## ⑥ [OK]

設定を有効にします。

## ■サービス設定：UNIX / Linux



### ①サービス

- ・ 有効  
UNIX および Linux マシンで本商品のボリュームにアクセスできます。
- ・ 無効  
UNIX および Linux マシンで本商品のボリュームにアクセスできません。

### ② NIS ドメイン

- ・ 有効  
NIS (Network Information Service) ドメインを使します。
- ・ 無効  
NIS ドメインを使しません。

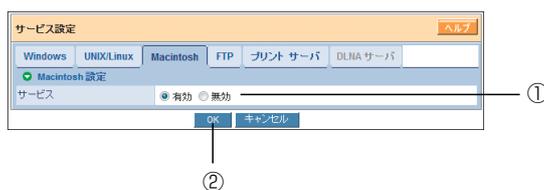
## ③ NIS ドメイン名

NIS ドメイン名を入力します。

## ④ [OK]

設定を有効にします。

## ■サービス設定：Macintosh



## ①サービス

- ・有効  
Macintosh で本商品のボリュームにアクセスできます。
- ・無効  
Macintosh で本商品のボリュームにアクセスできません。

## ② [OK]

設定を有効にします。

## ■サービス設定：FTP



## ①サービス

- ・有効  
FTP サーバとして使用します。
- ・無効  
FTP サーバとして使用しません。

## ②コマンドポート

コマンドポートとして使用するポート番号を入力します（初期値：21）。

## ③パッシブポート

パッシブポートとして使用するポート番号の範囲を入力します（初期値：1024\_65535）。

④ [OK]

設定を有効にします。

■サービス設定：プリントサーバ



①プリントサーバ

- ・ 有効  
プリントサーバ機能を使用します。
- ・ 無効  
プリントサーバ機能を使用しません。

② USB プリンタ情報

接続されている USB プリンタの製造元、製品名などを表示します。USB プリンタが接続されているときのみ表示されます。

③ [OK]

設定を有効にします。

## 1.5.2 フォルダ設定

フォルダ設定は、「一覧」、「設定」、「作成」、「削除」の設定画面に分かれています。

■フォルダ設定：一覧



①フォルダリスト

ボリュームおよびフォルダを表示します。  
フォルダ名をクリックするとそのフォルダの設定画面を表示します。

## ■フォルダ設定：設定



### ①ボリューム

ボリュームを選択します。

### ②フォルダ

設定を変更するフォルダを選択します。

### ③サービスの選択

チェックを付けたサービスで、フォルダが使用できるようになります。

「ステータス」は、P.23 「1.5.1 サービス設定」で有効になっているサービスは「オン」を無効になっているサービスには「オフ」を表示します。

### ④ [OK]

設定を有効にします。

## ■フォルダ設定：作成



### ①ボリューム

ボリュームを選択します。

### ②フォルダ名

フォルダ名を入力します。

### ③サービスの選択

チェックを付けたサービスで、フォルダが使用できるようになります。

「ステータス」は、P.23 「1.5.1 サービス設定」で有効になっているサービスは「オン」を無効になっているサービスには「オフ」を表示します。

### ④ [OK]

新規フォルダを作成します。

## ■フォルダ設定：削除



### ①フォルダリスト

削除するフォルダを選択します。

「PUBLIC」および「COREGA\_APP」フォルダは本商品の情報が保存されているため削除できません。

### ② [OK]

フォルダを削除します。



フォルダを削除すると、フォルダ内に保存されたデータも削除されます。

### 1.5.3 アクセス設定

アクセス設定は、「Windows 共有」、「UNIX / Linux 共有」、「FTP 共有」の設定画面に分かれています。

※ Public フォルダはアクセス設定ができません。

#### ■アクセス設定：Windows 共有



#### ① ボリューム

ボリュームを選択します。

#### ② フォルダ

フォルダを選択します。

#### ③ グループとユーザ

アクセス容量を設定するグループまたはユーザを選択します。グループ名の前には「@」が付いています。

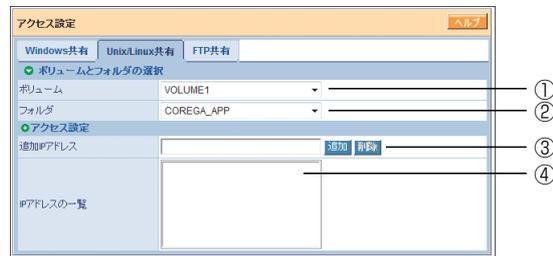
#### ④ アクセス権限

- ・ アクセス権無し  
読み取り、書き込みともにできません。
- ・ 読取専用  
読み取りだけできます。書き込むことはできません。
- ・ 読取/書込  
読み取り、書き込みともにできます。

#### ⑤ [OK]

設定を有効にします。

## ■アクセス設定：UNIX / Linux 共有



### ①ボリューム

ボリュームを選択します。

### ②フォルダ

フォルダを選択します。

### ③追加 IP アドレス

IP アドレスを入力して [追加] をクリックすると、アクセスできるようになります。

### ④ IP アドレスの一覧

アクセスできる IP アドレスの一覧を表示します。IP アドレスを選択して [削除] をクリックすると、アクセスできなくなります。

## ■アクセス設定：FTP 共有



### ①ボリューム

ボリュームを選択します。

### ②フォルダ

フォルダを選択します。

### ③グループとユーザ

アクセス権を設定するグループまたはユーザを選択します。グループ名の前には「@」が付いています。

---

#### ④ アクセス権限

- ・ アクセス権無し  
読み取り、書き込みともにできません。
- ・ 読取専用  
読み取りだけです。書き込むことはできません。
- ・ 読取／書込  
読み取り、書き込みともにできます。

#### ⑤ [OK]

設定を有効にします。

## 1.6 RAID 設定

RAID 設定メニューでは、次の設定ができます。

- RAID 設定  
RAID の設定、変更、削除などができます。
- ディスクアレイステータス  
ボリュームの情報を表示できます。



### 1.6.1 RAID 設定

RAID 設定には、「ディスクステータス」、「変更」、「作成」、「削除」、「回復」の設定画面があります。

#### ■ RAID 設定 : ディスクステータス



#### ①ディスク一覧

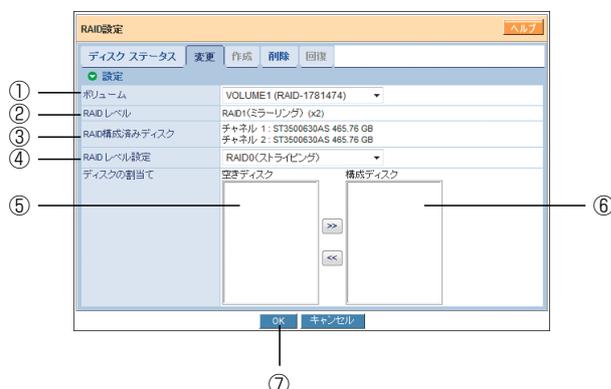
ボリューム名をクリックすると、ディスクステータスに RAID レベルや容量などを表示します。

ディスク名をクリックすると、ディスクステータスにハードディスクの詳細な情報を表示します。

#### ②ディスクステータス

RAID やハードディスクの情報を表示します。

## ■ RAID 設定：変更



### ① ボリューム

RAID の設定を変更するボリュームを選択します。

### ② RAID レベル

現在の RAID レベルを表示します。

### ③ RAID 構成済みディスク

RAID を構成しているハードディスクを表示します。

### ④ RAID レベル設定

- ・ RAID 0  
ストライピングを構成します。ハードディスクは 1 ～ 4 台必要です。
- ・ RAID 1  
ミラーリングを構成します。ハードディスクは 2 台必要です。
- ・ RAID 5  
パリティ（誤り訂正符号）を生成してストライピングを構成します。ハードディスクは 3 台または 4 台必要です。
- ・ RAID 10  
ストライピングとミラーリングを組み合わせで構成します。ハードディスクは 4 台必要です。



- ・ ハードディスクの台数によって設定できる項目が異なります。
- ・ RAID についての詳細は、P.90 「RAID とは」 をご覧ください。

### ⑤ 空きディスク

ハードディスクを選択し、>> をクリックして、構成ディスクに追加します。

## ⑥構成ディスク

ハードディスクを選択し、<<<をクリックすると、構成ディスクから削除されます。  
すでに RAID 構成されているハードディスクは表示されません。

## ⑦ [OK]

設定を有効にします。



- ・ RAID の構成には時間が掛かります。「System busy」と表示されている間は、絶対に本商品の電源を切ったり、パソコンをシャットダウンしたりしないでください。本商品やハードディスクが故障するおそれがあります。
- ・ RAID ボリュームの構成を変更すると、ボリューム内に保存されたデータは消去されます。

## ■ RAID 設定：作成



### ① RAID レベル

- ・ RAID 0  
ストライピングを構成します。ハードディスクは 1 ～ 4 台必要です。
- ・ RAID 1  
ミラーリングを構成します。ハードディスクは 2 台必要です。
- ・ RAID 5  
パリティ（誤り訂正符号）を生成してストライピングを構成します。ハードディスクは 3 台または 4 台必要です。
- ・ RAID 10  
ストライピングとミラーリングを組み合わせで構成します。ハードディスクは 4 台必要です。



- ・ ハードディスクの台数によって設定できる項目が異なります。
- ・ RAID についての詳細は、P.90 「RAID とは」をご覧ください。

## ②構成ディスク

ハードディスクを選択し、>>をクリックすると、空きディスクに移動します。

## ③空きディスク

ハードディスクを選択し、<<をクリックして、構成ディスクに追加します。

## ④ [OK]

設定を有効にします。

## ■ RAID 設定：削除



### ① RAID ステータス

削除するボリュームを選択します。

### ② [OK]

ボリュームを削除します。クリックすると確認画面が表示されますので、「YES」と入力して実行します。



RAID ボリュームを削除すると、ボリューム内に保存されたデータは消去されます。

## ■ RAID 設定：回復



### ①回復リスト

回復するボリュームを選択します。

### ② [OK]

ボリュームを回復します。クリックすると確認画面が表示されますので、「YES」と入力して実行します。

## 1.6.2 ディスクアレイステータス

ディスクアレイの状態を表示します。



### ① ディスクアレイ一覧

ボリューム名をクリックすると、ステータスに RAID レベルや容量などを表示します。

ディスク名をクリックすると、ステータスにハードディスクの詳細な情報を表示します。

## 1.7 バックアップ設定

バックアップ設定メニューでは、次の設定ができます。

- ・バックアップ設定

バックアップ機能の設定をします。

- ・レプリケーション設定

レプリケーション機能の設定をします。

※クライアントバックアップ設定は使用しません。



### 1.7.1 バックアップ設定

バックアップ設定には、「ステータス」、「設定」、「スケジュール」、「アクセス設定」の設定画面があります。

#### ■バックアップ設定：ステータス



##### ①バックアップ一覧

設定しているバックアップを表示します。

#### ■バックアップ設定：設定



##### ①ボリューム

バックアップするボリュームを選択します。

## ②バックアップ

- ・ 有効  
バックアップ機能を使用します。
- ・ 無効  
バックアップ機能を使用しません。

## ③設定容量

バックアップに使用するハードディスクの容量を選択します（初期値：30GB）。

## ④ [OK]

設定を有効にします。クリックすると確認画面が表示されますので、「YES」と入力して実行します。

## ■バックアップ設定：スケジュール



### ①無効

バックアップ機能を使用しません。

### ②単回実行

[OK] をクリックしたときに、一度だけバックアップを実行します。

### ③毎時

設定した時間間隔でバックアップを実行します（初期値：1 時間）。

### ④毎日

設定した時間にバックアップを実行します（初期値：0 時 0 分）。

### ⑤毎週

設定した曜日と時間にバックアップを実行します（初期値：日曜日、0 時 0 分）。

### ⑥ [OK]

設定を有効にします。②単回実行を選択したときは、すぐにバックアップを実行します。

## ■バックアップ設定：アクセス設定



### ①バックアップリスト

データをリカバリするバックアップデータを選択します。

### ② [許可] または [禁止]

クリックすることによりボタンが切り替わります。

- ・ [許可]  
バックアップデータへのアクセスを許可します。
- ・ [禁止]  
バックアップデータへのアクセスを許可しません。

### ③ [OK]

設定を有効にします。

## 1.7.2 レプリケーション設定

レプリケーションとは、2 台以上の本商品を使用して、本商品の設定やハードディスクのデータを複製する機能です。プライマリサーバの状態をバックアップサーバに複製し、データを同期します。万が一の障害に備えて、本商品を冗長化することができます。

レプリケーション設定には、「ステータス」、「設定」の設定画面があります。

## ■レプリケーション設定：ステータス



### ①ロール

設定されているロールを表示します。

### ②レプリケーション先 IP アドレス

レプリケーション先の IP アドレスを表示します。

### ③スケジュール

設定されているスケジュールを表示します。

## ■レプリケーション設定：設定



### ①ロール

- ・ スタンドアロン  
本商品をスタンドアロンで使用します（初期値）。レプリケーション機能は使用できません。
- ・ プライマリサーバ  
本商品が 2 台以上あるときに、本商品をプライマリサーバとしてレプリケーション機能を使用します。
- ・ バックアップサーバ  
本商品が 2 台以上あるときに、本商品をバックアップサーバとしてレプリケーション機能を使用します。

### ②他のサーバー IP

ロールをプライマリサーバに設定したときは、バックアップサーバの IP アドレスを入力します。

ロールをバックアップサーバに設定したときは、プライマリサーバの IP アドレスを入力します。

### ③無効

レプリケーション機能を使用しません。

### ④単回実行

[OK] をクリックしたときに、一度だけレプリケーションを実行します。

### ⑤毎時

設定した時間間隔でレプリケーションを実行します（初期値：1 時間）。

---

**⑥毎日**

設定した時間にレプリケーションを実行します（初期値：0 時 0 分）。

**⑦毎週**

設定した曜日と時間にレプリケーションを実行します（初期値：日曜日、0 時 0 分）。

**⑧ [OK]**

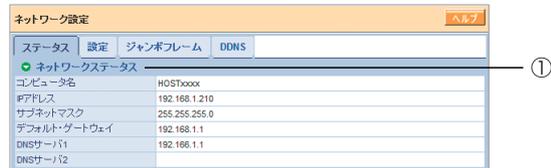
設定を有効にします。④単回実行を選択したときは、すぐにレプリケーションを実行します。

## 1.8 ネットワーク設定

ネットワーク設定メニューでは、本商品のネットワーク設定ができます。

ネットワーク設定には、「ステータス」、「設定」、「ジャンボフレーム」、「DDNS」の設定画面があります。

### ■ネットワーク設定：ステータス



#### ① ネットワークステータス

ネットワーク設定を表示します。

### ■ネットワーク設定：設定



#### ① コンピュータ名

ネットワーク上に表示されるコンピュータ名を入力します。半角英数字および記号で、15文字以内で入力してください。

#### ② インターネットプロトコル

「IP 自動取得 (DHCP)」または「IP 固定」のどちらかを選択します。  
「IP 固定」を選択すると、IP アドレス設定 (③～⑦) が表示されます。

#### ③ IP アドレス

IP アドレスを入力します (初期値: 192.168.1.210)。

#### ④ サブネットマスク

サブネットマスクのアドレスを入力します (初期値: 255.255.255.0)。

#### ⑤ デフォルト・ゲートウェイ

デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します (初期値: 192.168.1.1)。

#### ⑥ DNS サーバ 1

プライマリ DNS サーバのアドレスを入力します (初期値: 192.168.1.1)。

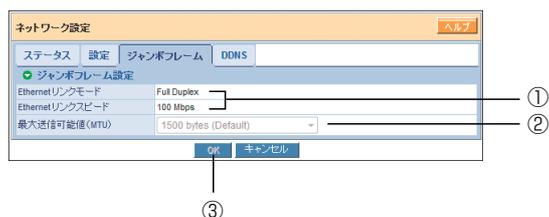
## ⑦ DNS サーバ 2

セカンダリ DNS サーバのアドレスを入力します（初期値：なし）。

## ⑧ [OK]

設定を有効にします。

## ■ネットワーク設定：ジャンボフレーム



## ① Ethernet リンクモード、Ethernet リンクスピード

リンクモードとリンクスピードを表示します。

## ②最大送信可能値 (MTU)

最大フレームサイズを選択します（初期値：1500 バイト）。

## ③ [OK]

設定を有効にします。



- ・接続する LAN アダプタまたはスイッチングハブが、ジャンボフレーム対応しているときのみ設定できます。
- ・接続する機器によって、②最大送信可能値 (MTU) の値が異なります。接続する機器と同じ値に設定してください。

## ■ネットワーク設定：DDNS

DDNS（ダイナミック DNS）サービスを使用すると、インターネットからダイナミック DNS サービス名で本商品に接続できます。



### ① サービス

- ・ 有効  
ダイナミック DNS サービスを使用します。
- ・ 無効  
ダイナミック DNS サービスを使用しません。

### ② DDNS 名

ダイナミック DNS サービスに登録したドメイン名を入力します。

### ③ 登録者名

ダイナミック DNS サービスに登録したログイン ID を入力します。

### ④ パスワード

ダイナミック DNS サービスに登録したパスワードを入力します。

### ⑤ [OK]

設定を有効にします。



対応するダイナミック DNS サービスは、DynDNS (<http://www.dyndns.com>) のみです。

## 1.9 システム管理

システム管理メニューでは、次の情報の表示や設定ができます。

- ・ サービスステータス

サービス設定の状態を表示します。

- ・ イベントログ

イベントログを表示します。

- ・ メールアラート

イベントログに連動してメールを送信できます。

- ・ ファームウェア更新

ファームウェアを更新できます。

- ・ 警告音設定

警告音の有無を設定できます。

- ・ UPS（無停電電源装置）設定

UPS（無停電電源装置）を使用するときシャットダウン方法を設定できます。

- ・ 日付／時間設定

日時設定、インターネット時刻サーバとの時刻を同期する設定ができます。

- ・ 再起動／シャットダウン設定

再起動またはシャットダウンします。

- ・ システム保護

システムファイルをバックアップしたり、バックアップしたデータを読み込んで設定を戻すことができます。

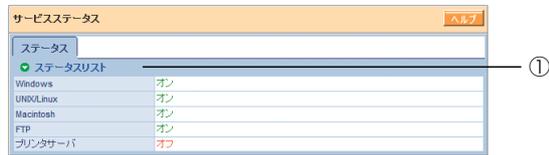
- ・ システムステータス

システムの状態を表示します。



## 1.9.1 サービスステータス

### ■サービスステータス：ステータス

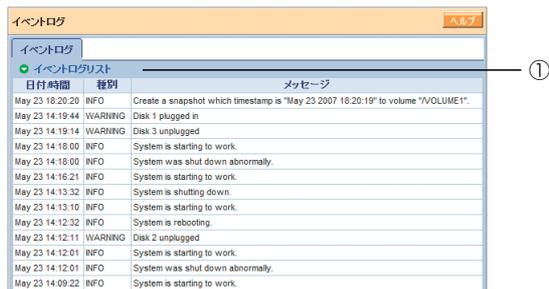


#### ①ステータスリスト

有効になっているサービスには「オン」を、無効になっているサービスには「オフ」を表示します。

## 1.9.2 イベントログ

### ■イベントログ：イベントログ



#### ①イベントログリスト

イベントが発生した日時、メッセージを表示します。

## 1.9.3 メールアラート

メールアラート機能は、イベントログにログが記録されると、そのログの内容をメールで送信します。本商品が離れた場所にあっても、エラーなどの情報を入手できます。

メールアラートでは、「メールリスト」、「追加」、「削除」、「セットアップ」の設定画面があります。

## ■メールアラート：メールリスト



### ①メールリスト

登録されているメールアドレスが表示されます。

## ■メールアラート：追加



### ① E メールアドレス

メールアドレスを入力します。

### ② [OK]

メールアドレスを登録します。

## ■メールアラート：削除



### ①メールリスト

削除するメールアドレスを選択します。

### ② [OK]

選択したメールアドレスを削除します。

## ■メールアラート：セットアップ

① サービス  
② SMTPサーバ  
③ 送信元メールアドレス  
④ SMTP認証  
⑤ ユーザー名  
⑥ パスワード  
⑦ OK

### ① サービス

- ・ 有効  
メールアラート機能を使用します。
- ・ 無効  
メールアラート機能を使用しません。

### ② SMTP サーバ

SMTP サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。

### ③送信元メールアドレス

メールの送信元に表示する名称を入力します。

### ④ SMTP 認証

- ・ はい  
SMTP 認証を使用します。⑤ユーザー名および⑥パスワードを入力します。
- ・ いいえ  
SMTP 認証を使用しません。

### ⑤ユーザー名

SMTP 認証で使用するユーザー名を入力します。

### ⑥パスワード

SMTP 認証で使用するパスワードを入力します。

### ⑦ [OK]

設定を有効にします。

## 1.9.4 ファームウェア更新

本商品のファームウェア更新することや、アプリケーションを追加することができます。ファームウェア更新には、「ファームウェア更新」と「アプリケーションの追加」の設定画面があります。



ファームウェアの更新中は、絶対に本商品の電源を切ったり、パソコンをシャットダウンしたりしないでください。本商品が故障するおそれがあります。

ファームウェアを更新する前に、本商品のシステムやハードディスクのデータをバックアップしてください。



最新のファームウェアファイル、追加アプリケーションファイルは、コレガホームページ (<http://corega.jp/>) からダウンロードできます（提供時期は未定です）。

### ■ファームウェア更新：ファームウェア更新



#### ① ボリューム

ファームウェアファイルを保存したボリュームを選択します。

#### ② フォルダ

ファームウェアファイルを保存したフォルダを選択します。

#### ③ ファイル名

ファームウェアファイルのファイル名を入力します。

#### ④ [OK]

ファームウェアを更新します。

## ■ファームウェア更新：アプリケーションの追加



### ① ボリューム

追加するアプリケーションファイルを保存したボリュームを選択します。

### ② フォルダ

追加するアプリケーションファイルを保存したフォルダを選択します。

### ③ ファイル名

追加するアプリケーションファイルのファイル名を入力します。

### ④ [OK]

アプリケーションを追加します。

## 1.9.5 警告音設定

### ■警告音設定：セットアップ



### ① 警告音

- ・ 有効

本商品にエラーが発生したときに、警告音を鳴らします（初期値）。

- ・ 無効

警告音を鳴らしません。

### ② [OK]

設定を有効にします。

## 1.9.6 UPS（無停電電源装置）設定

UPS（無停電電源装置）設定には、「ステータス」と「設定」の設定画面があります。

### ■ UPS（無停電電源装置）設定：ステータス

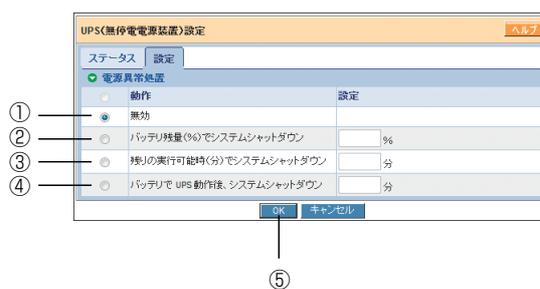
※ UPS（無停電電源装置）を接続した場合のみ表示されます。



#### ①ステータス

UPS（無停電電源装置）の情報を表示します。

### ■ UPS（無停電電源装置）設定：設定



#### ①無効

UPS が動作しません。

#### ②バッテリー残量（%）でシステムシャットダウン

UPS のバッテリー残量が指定した割合になるとシャットダウンします（設定単位：％）。

#### ③残りの実行可能時（分）でシステムシャットダウン

UPS の残りの実行時間が指定した時間になるとシャットダウンします（設定単位：分）。

#### ④バッテリーで UPS 動作後、システムシャットダウン

指定した時間でシャットダウンします（設定単位：分）。

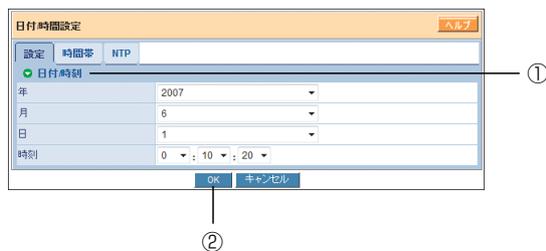
#### ⑤ [OK]

設定を有効にします。

## 1.9.7 日付／時間設定

日付／時間設定には、「設定」、「時間帯」、「NTP」の設定画面があります。

### ■日付／時間設定：設定



#### ①年、月、日、時刻

数値を選択します。

#### ② [OK]

設定を有効にします。

### ■日付／時間設定：時間帯



#### ①時間帯

時間帯（タイムゾーン）を選択します（初期値：GMT+9 東京、ソウル、大阪、札幌、ヤクーツク）。

#### ② [OK]

設定を有効にします。

## ■日付／時間設定：NTP



### ① NTP サーバアドレス

本商品の内部時計をインターネット時刻サーバと同期することができます。同期するサーバのサーバ名または IP アドレスを入力します。

### ② 最終同期時間

前回同期した日時を表示します。同期していない場合は表示されません。

### ③ 最終同期結果

前回同期したときの状態を表示します。

### ④ 無効

時刻の同期機能を使用しません。

### ⑤ 実行

[OK] をクリックしたときに、一度だけ時刻を同期します。

### ⑥ 毎時

設定した時間間隔で時刻を同期します（初期値：1 時間）。

### ⑦ 毎日

設定した時間に時刻を同期します（初期値：0 時 0 分）。

### ⑧ 毎週

設定した曜日と時間に時刻を同期します（初期値：日曜日、0 時 0 分）。

### ⑨ [OK]

設定を有効にします。⑤実行を選択したときは、すぐに時刻を同期します。

## 1.9.8 再起動／シャットダウン設定

### ■再起動／シャットダウン設定：設定



#### ①再起動

本商品を再起動します。

#### ②シャットダウン（電源を切る）

本商品の電源を切ります。

#### ③ [OK]

再起動またはシャットダウンを実行します。

## 1.9.9 システム保護

システム保護には、「システムバックアップ設定」と「システム回復設定」の設定画面があります。

### ■システム保護：システムバックアップ設定



#### ①ボリューム

ボリュームを選択します。

#### ②フォルダ

バックアップデータを保存するフォルダを選択します。

#### ③ [OK]

設定を有効にします。

## ■システム保護：システム回復設定



### ①ボリューム

ボリュームを選択します。

### ②フォルダ

バックアップデータを保存したフォルダを選択します。

### ③ファイル名

バックアップデータのファイル名を入力します。

### ④ [OK]

システムをバックアップしたときの状態に戻します。

## 1.9.10 システムステータス

### ■システムステータス：システムステータス

システムステータス		ヘルプ
システムステータス		
①	バージョン	01_01_2140_07
②	CPU	MPC E343
③	ネットワークアダプタ	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps
④	ネットワークフロー	インフロー : 0 bps アウトフロー : 64 bps
⑤	CPU温度の正常範囲	37.00 °C 正常範囲 => 58 °C
⑥	システムファンスピードの正常範囲	2789 RPM 正常範囲 => 1800 RPM
⑦	電源ステータス +5V (4.75 V => 正常範囲 =< 5.23 V)	4.96 V
	電源ステータス +12V (11.00 V => 正常範囲 =< 12.94 V)	11.97 V
	電源ステータス +3.3V (3.12 V => 正常範囲 =< 3.46 V)	3.31 V

#### ①バージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

#### ② CPU

本商品の CPU を表示します。

#### ③ネットワークアダプタ

本商品のネットワークアダプタを表示します。

#### ④ネットワークフロー

ネットワークの通信速度を表示します。

#### ⑤ CPU 温度の正常範囲

CPU 温度を表示します。

#### ⑥システムファンスピードの正常範囲

システムファンの回転数を表示します。

#### ⑦電源ステータス

電源の状態を表示します。

# 第2章

## 設定の手順

この章では、パソコン側で必要な設定について説明します。

<b>2.1 ネットワークドライブの割り当て .....</b>	<b>58</b>
2.1.1 作業の前に .....	58
2.1.2 Windows Vista .....	59
2.1.3 Windows XP .....	62
2.1.4 Windows 2000 .....	64
2.1.5 Macintosh .....	66
<b>2.2 ゴミ箱機能について .....</b>	<b>68</b>
2.2.1 はじめに .....	68
2.2.2 Windows Vista .....	68
2.2.3 Windows XP .....	69
2.2.4 Windows 2000 .....	70
2.2.5 ファイルを元に戻す .....	70
2.2.6 ファイルを完全に削除する .....	70
<b>2.3 プリントサーバの設定 .....</b>	<b>71</b>
2.3.1 はじめに .....	71
2.3.2 Windows Vista .....	73
2.3.3 Windows XP .....	74
2.3.4 Windows 2000 .....	76

## 2.1 ネットワークドライブの割り当て

---

OS ごとにネットワークドライブの割り当て方法を説明します。

- ・ Windows Vista
- ・ Windows XP
- ・ Windows 2000
- ・ Macintosh



ネットワークドライブとして割り当てることができるのは、ボリューム直下のフォルダのみです。サブフォルダをネットワークドライブとして割り当てることはできません。

本商品の初期値では、「COREGA\_APP」および「PUBLIC」の2つのフォルダが、ボリュームの直下に作成されます。「COREGA\_APP」および「PUBLIC」以外のフォルダを作成するには、次をご覧ください。

P.26 「1.5.2 フォルダ設定」

### 2.1.1 作業の前に

---

ネットワークドライブを割り当てる前に、まずお使いのパソコンのIPアドレスと、本商品のIPアドレスを確認してください。



- ・ お使いのパソコンのIPアドレスがわからない場合は、次をご覧ください。

P.83 「3.4 パソコンのIPアドレスがわからない」

- ・ 本商品のIPアドレスを忘れてしまった場合は、次をご覧ください。

「取扱説明書」 「4.2.3 本商品にログインできない」

## 2.1.2 Windows Vista

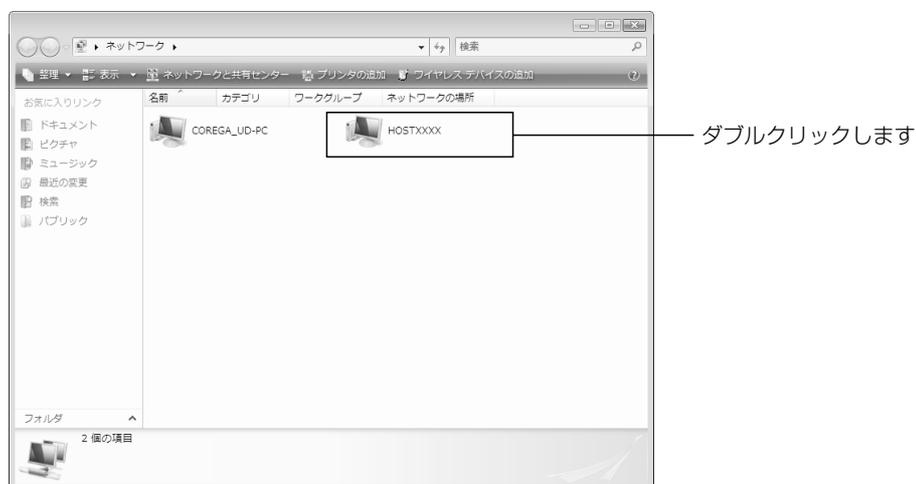
Windows Vista でネットワークドライブを割り当てる方法を説明します。

- 1 [スタート] をクリックしたあと、①に「¥¥192.168.1.210」と入力して、検索された②をクリックします。



画面は一例であり、①の IP アドレスは初期値です。お使いの環境によっては異なる場合があります。

- 2 本商品のアイコン（本商品に設定した「コンピュータ名」）をダブルクリックします。



 本商品に設定した「コンピュータ名」がわからない場合は、次をご覧ください。

 P.42 「1.8 ネットワーク設定」

**3** ユーザー名およびパスワードに「admin」と入力し、[OK] をクリックします。



ユーザー名を入力します  
パスワードを入力します  
クリックします

※パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。初期値は「admin」です。

**4** 「public」をクリックして選択したあと、右クリックして「ネットワークドライブの割り当て」をクリックします。



クリックします

※ 「public」フォルダをネットワークドライブに割り当てる例です。

## 5 ドライブ文字を選択し、[完了]をクリックします。



「ログオン時に再接続する」のチェックを外すと、ログオフしたあとで再接続できなくなります。

## 6 コンピュータ内にネットワークドライブが登録されていることを確認します。

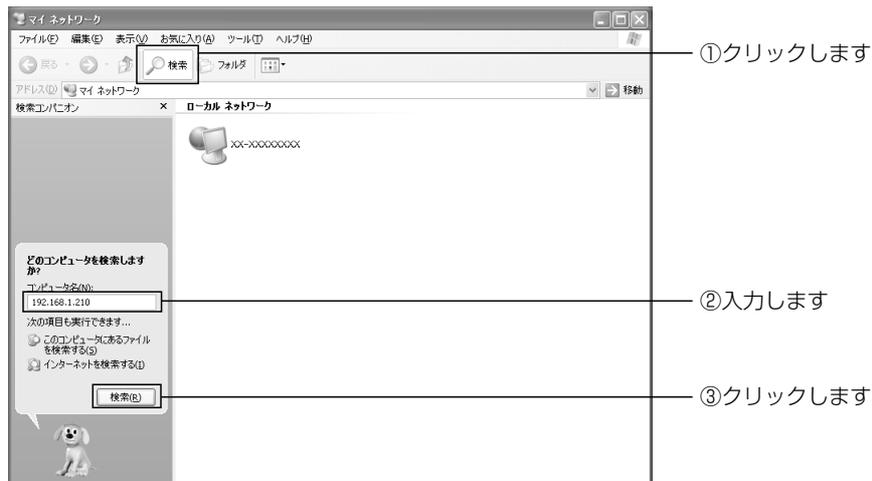


以上で、ネットワークドライブの割り当ては終了です。

## 2.1.3 Windows XP

Windows XP でネットワークドライブを割り当てる方法を説明します。

- 1 **マイネットワークを開き、上部ツールバーの①「検索」をクリックしたあと、左の②に「192.168.1.210」と入力して③ [ 検索 ] をクリックします。**

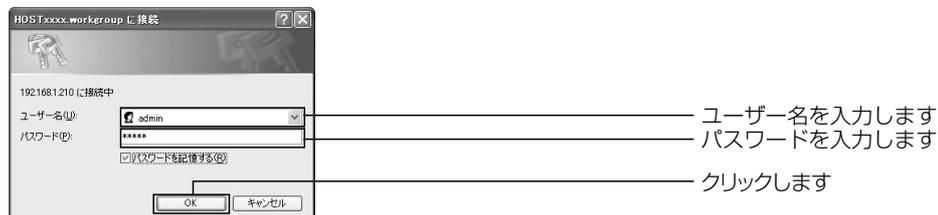


画面は一例であり、②の IP アドレスは初期値です。お使いの環境によっては異なる場合があります。

- 2 **検索された本商品をクリックします。**

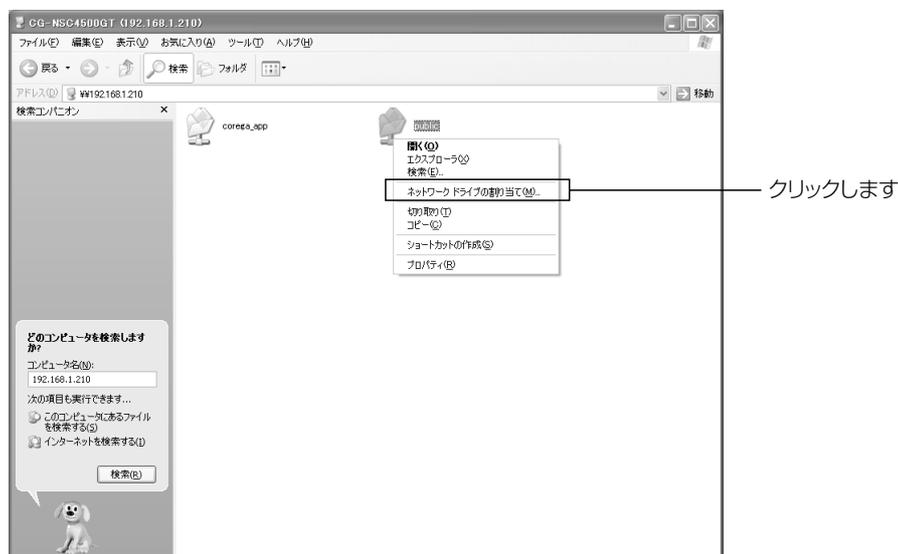


### 3 ユーザー名およびパスワードに「admin」と入力し、[OK] をクリックします。



※パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。初期値は「admin」です。

### 4 「public」をクリックして選択したあと、右クリックして「ネットワークドライブの割り当て」をクリックします。



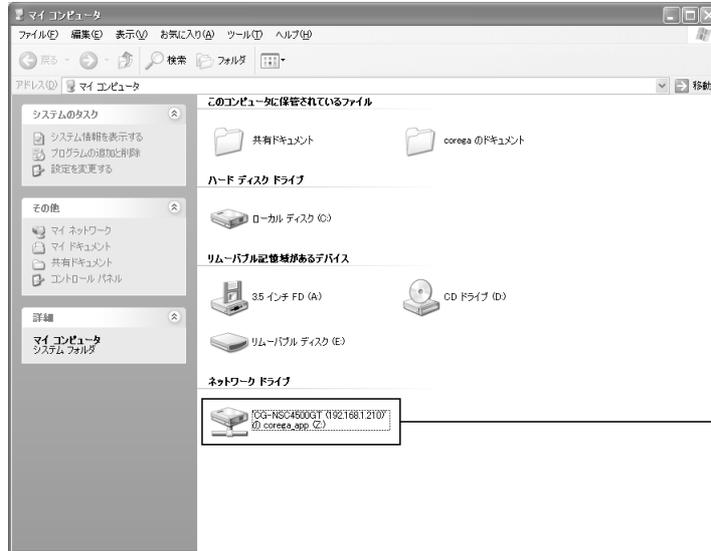
※「public」フォルダをネットワークドライブに割り当てる例です。

### 5 ドライブ文字を選択し、[完了] をクリックします。



「ログオン時に再接続する」のチェックを外すと、ログオフしたあとで再接続できなくなります。

## 6 マイコンピュータ内にネットワークドライブが登録されていることを確認します。

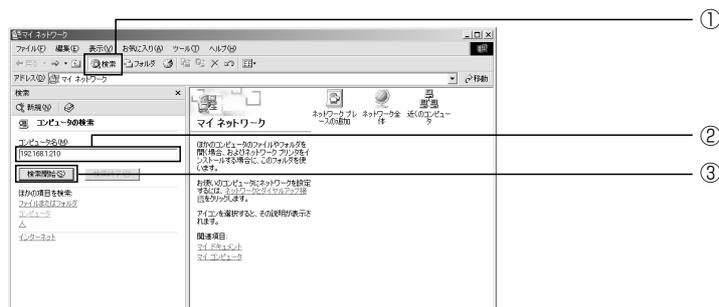


以上で、ネットワークドライブの割り当ては終了です。

### 2.1.4 Windows 2000

Windows 2000 でネットワークドライブを割り当てる方法を説明します。

#### 1 マイネットワークを開き、上部ツールバーの①「検索」をクリックしたあと、左の②に「192.168.1.210」と入力して、③ [ 検索開始 ] をクリックします。



 画面は一例であり、②の IP アドレスは初期値です。お使いの環境によっては異なる場合があります。

2

## 2 検索された本商品をクリックします。

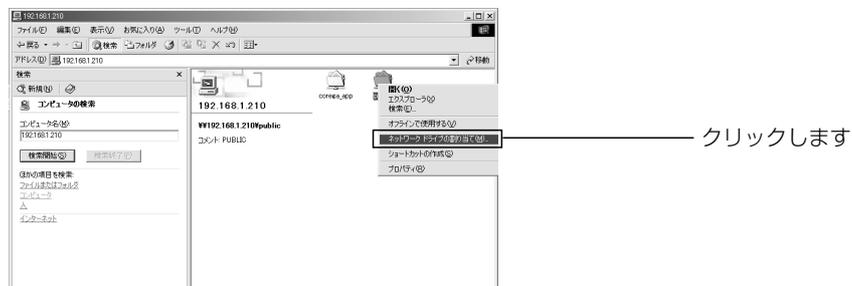


## 3 ①ユーザー名および②パスワードに「admin」と入力し、③ [OK] をクリックします。



※パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。初期値は「admin」です。

## 4 「public」をクリックして選択したあと、右クリックして「ネットワークドライブの割り当て」をクリックします。



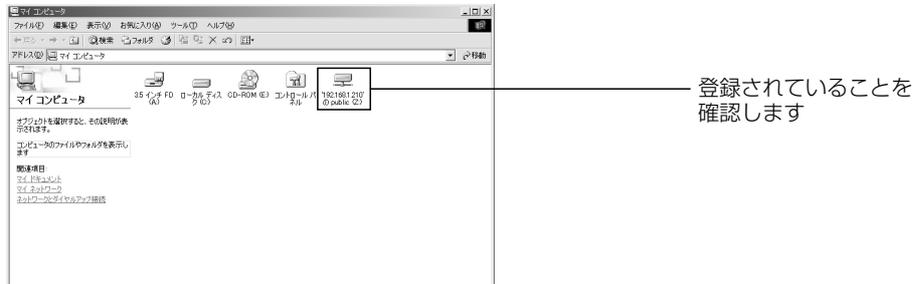
※「public」フォルダをネットワークドライブに割り当てる例です。

## 5 ドライブ文字を選択し、[完了] をクリックします。



**注意** 「ログオン時に再接続する」のチェックを外すと、ログオフしたあとで再接続できなくなります。

## 6 マイコンピュータ内にネットワークドライブが登録されていることを確認します。

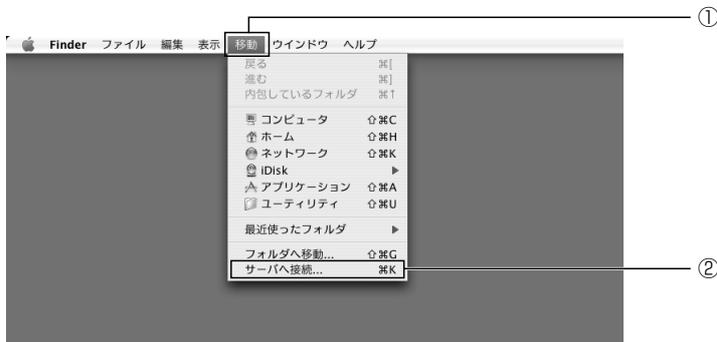


以上で、ネットワークドライブの割り当ては終了です。

## 2.1.5 Macintosh

Macintosh (Mac OS X 10.4) でネットワークドライブを割り当てる方法を説明します。

### 1 ツールバーの①「移動」をクリックしたあと、②「サーバへ接続 ...」をクリックします。

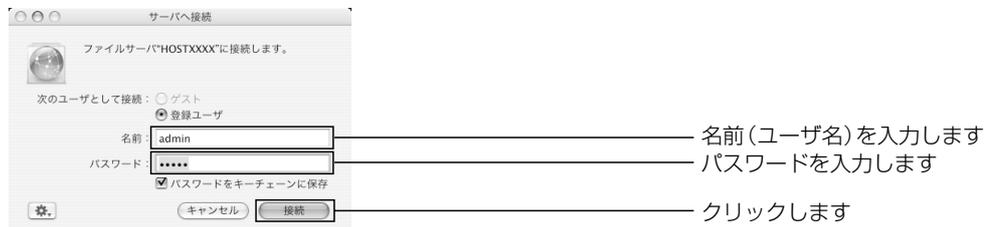


### 2 ①サーバアドレス欄に「afp://192.168.1.210」と入力し、② [ 接続 ] をクリックします。



画面は一例であり、①の IP アドレスは初期値です。お使いの環境によっては異なる場合があります。

### 3 名前（ユーザ名）とパスワード欄に「admin」と入力し、[接続] をクリックします。



※パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。初期値は「admin」です。

### 4 「public」 をクリックして選択したあと、[OK] をクリックします。

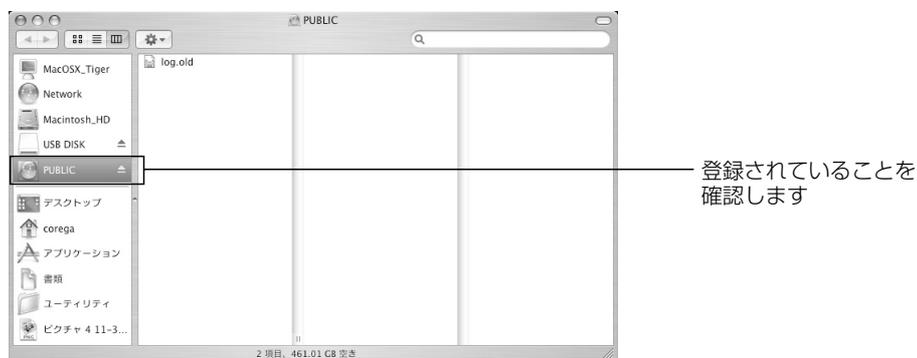


※「public」フォルダをネットワークドライブに割り当てる例です

### 5 [OK] をクリックします。



### 6 割り当てをしたドライブが登録されていることを確認します。



以上で、ネットワークドライブの割り当ては終了です。

## 2.2 ゴミ箱機能について

### 2.2.1 はじめに

ゴミ箱機能について説明します。

本商品に保存したデータを削除した場合、各フォルダ内の「.RECYCLER」フォルダ（ゴミ箱フォルダ）にファイルが移動します。ファイルは完全に削除されていないため、ゴミ箱フォルダから元に戻すことができます。

ゴミ箱フォルダは隠し属性のため、フォルダ内を確認したり、ファイルを元に戻したり、ファイルを完全に削除するには、お使いのパソコンによって設定が必要になります。

### 2.2.2 Windows Vista

Windows Vista で隠しフォルダを表示する方法を説明します。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「クラシック表示」をクリックします。
- 2 「フォルダオプション」を開き、「表示」タブをクリックします。
- 3 「詳細設定」の「ファイルとフォルダの表示」を「すべてのファイルとフォルダを表示する」を選択して、[OK] をクリックします。



## 2.2.3 Windows XP

Windows XP で隠しフォルダを表示する方法を説明します。

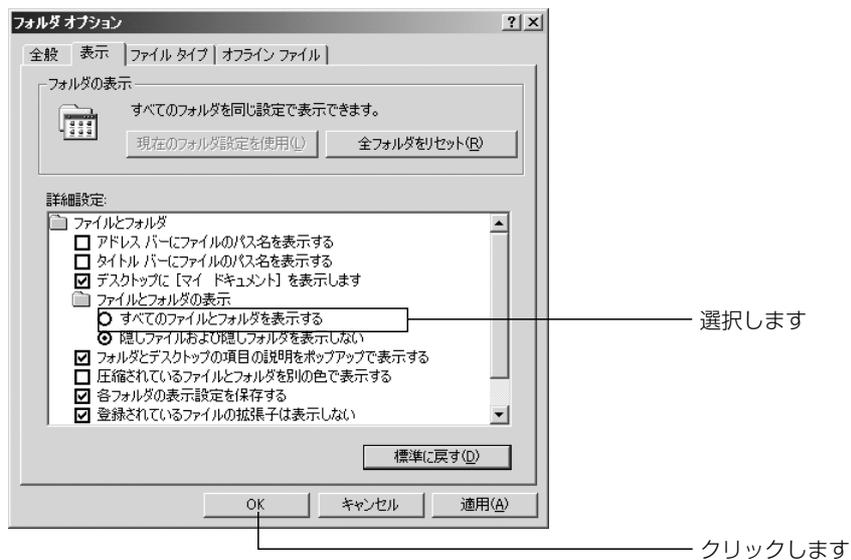
- 1 「コントロールパネル」の「フォルダオプション」を開き、「表示」タブをクリックします。
- 2 「詳細設定」の「ファイルとフォルダの表示」を「すべてのファイルとフォルダを表示する」を選択して、[OK] をクリックします。



## 2.2.4 Windows 2000

Windows 2000 で隠しフォルダを表示する方法を説明します。

- 1 「コントロールパネル」の「フォルダオプション」を開き、「表示」タブをクリックします。
- 2 「詳細設定」の「ファイルとフォルダの表示」を「すべてのファイルとフォルダを表示する」を選択して、[OK] をクリックします。



## 2.2.5 ファイルを元に戻す

削除したファイルは、各フォルダ内の「.RECYCLER」フォルダにあるユーザ名のフォルダに移動します。ファイルを元に戻す場合は、エクスプローラで「.RECYCLER」フォルダ内のユーザ名のフォルダを開き、削除したファイルを元の場所に戻してください。

## 2.2.6 ファイルを完全に削除する

削除したファイルは、各フォルダ内の「.RECYCLER」フォルダにあるユーザ名のフォルダに移動します。ファイルを完全に削除する場合は、エクスプローラで「.RECYCLER」フォルダを開き、ユーザ名のフォルダごと削除するか、ユーザ名のフォルダ内のファイルを削除してください。

## 2.3 プリントサーバの設定

OS ごとにプリントサーバの設定方法を説明します。

- ・ Windows Vista
- ・ Windows XP
- ・ Windows 2000



プリントサーバ機能は Macintosh ではお使いいただくことができません。

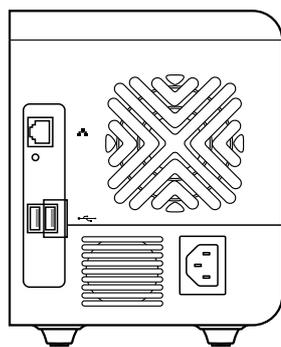
### 2.3.1 はじめに

- 1** プリントサーバの設定をする前に、まずお使いのパソコンとプリンタとを直接接続して、プリンタドライバをインストールします。



プリンタドライバのインストール方法は、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

- 2** プリンタで印刷できることを確認します。
- 3** プリンタを接続している USB ケーブルを、パソコンから抜きます。
- 4** 本商品の背面にある USB ポート(プリンタ接続用)に USB ケーブルを接続します。

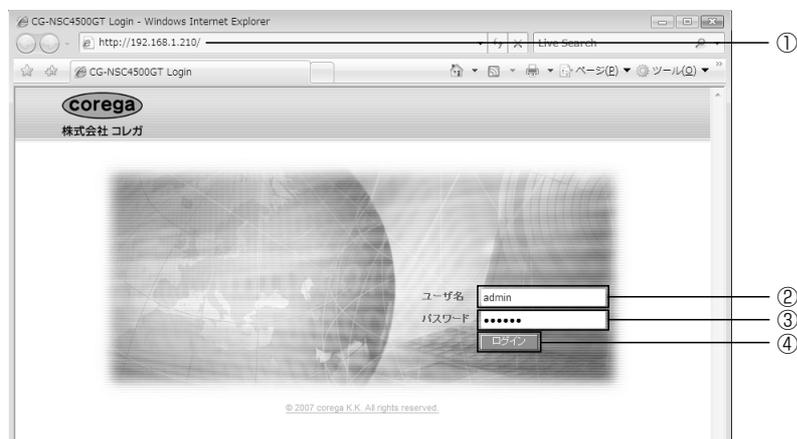


プリンタのUSBケーブルを接続します



プリンタは、上図のように内側にある USB ポート (プリンタ接続用) に接続してください。外側の USB ポート (UPS 接続用) に接続すると、プリンタが正常に動作しないことがあります。

- 5** ツールバーのアドレス覧①に「192.168.1.210」と入力して本商品に接続し、ログイン画面が表示されたら、②ユーザ名と③パスワードに「admin」と入力して④ [ログイン] をクリックします。



メモ

- ・画面は一例であり、①の IP アドレスは初期値です。お使いの環境によっては異なる場合があります。
- ・パスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。初期値は「admin」です。

- 6** 設定画面が表示されたら、①「フォルダ / プリンタ設定」→②「サービス設定」と順番にクリックし、サービス設定の③「プリントサーバ」タブを選択してクリックします。

プリントサーバ設定で、プリントサーバが④「有効」にチェックが付いているか確認します。



注意

- ・プリンタが正しく接続されていない場合、プリンタの電源がオフになっている場合は、プリントサーバタブには何も表示されません。

## 2.3.2 Windows Vista

Windows Vista でプリントサーバの設定をする方法を説明します。

- 1 P.59 「2.1.2 Windows Vista」の手順 1 ～ 3 に従って、本商品に接続します。
- 2 「usbptr01」アイコンをダブルクリックします。



- 3 [OK] をクリックします。



- 4 本商品に接続しているプリンタの製造元、プリンタ名を選択して [OK] をクリックします。



- 5** 「コントロールパネル」の「プリンタ」を開き、「usbptr01」のアイコンを右クリックし、「通常使うプリンタに設定」をクリックします。

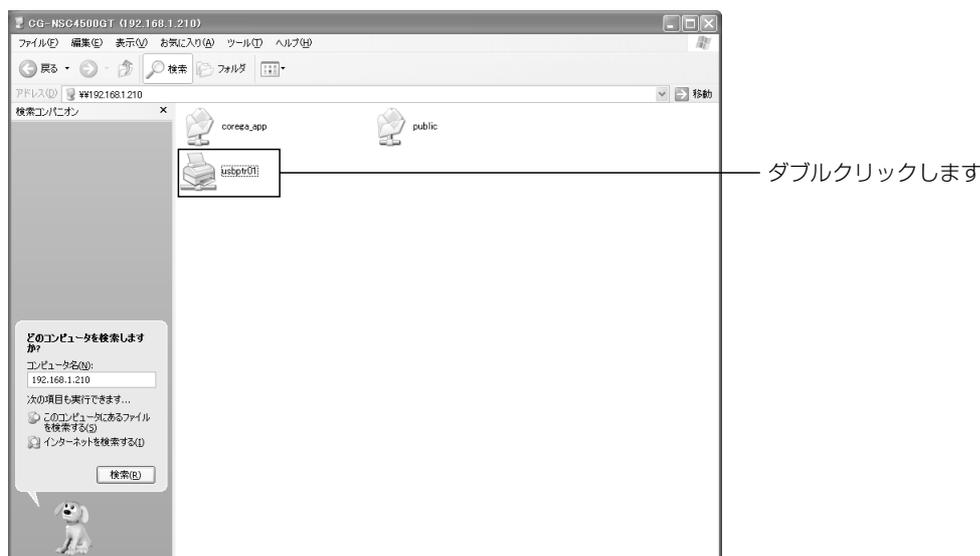


- 6** 「usbptr01」のアイコンにチェックが付いたらプリンタ設定は終了です。

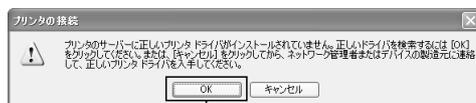
### 2.3.3 Windows XP

Windows XP でプリントサーバの設定をする方法を説明します。

- 1** P.62 「2.1.3 Windows XP」の手順 1 ～ 3 に従って、本商品に接続します。
- 2** 「usbptr01」アイコンをダブルクリックします。



### 3 [OK] をクリックします。



クリックします

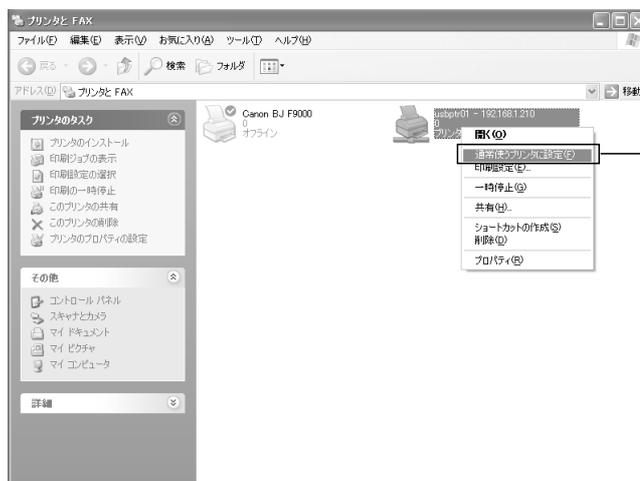
### 4 本商品に接続しているプリンタの製造元、プリンタ名を選択して [OK] をクリックします。



お使いのプリンタを選択します

クリックします

### 5 「コントロールパネル」の「プリンタ」を開き、「usbptr01」のアイコンを右クリックし、「通常使うプリンタに設定」をクリックします。



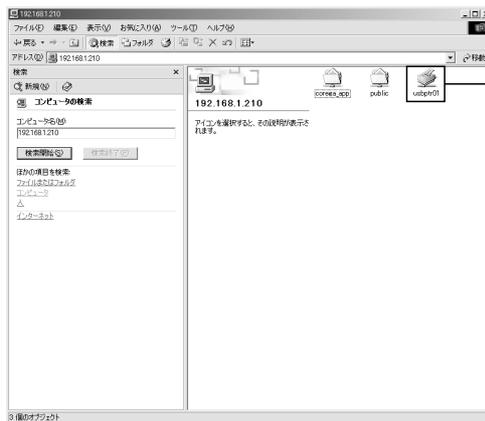
クリックします

### 6 「usbptr01」のアイコンにチェックが付いたらプリンタ設定は終了です。

## 2.3.4 Windows 2000

Windows 2000 でプリントサーバの設定をする方法を説明します。

- 1** P.64 「2.1.4 Windows 2000」の手順 1 ～ 3 に従って、本商品に接続します。
- 2** 「usbptr01」アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

- 3** [はい] をクリックします。



クリックします

- 4** [OK] をクリックします。



クリックします

- 5** 本商品に接続しているプリンタの製造元、プリンタ名を選択して [OK] をクリックします。



お使いのプリンタを選択します

クリックします

- 6** 「コントロールパネル」の「プリンタ」を開き、「usbptr01」のアイコンを右クリックし、「通常使うプリンタに設定」をクリックします。



- 7** 「usbptr01」のアイコンにチェックが付いたらプリンタ設定は終了です。



# 第3章

## Q&A

この章では、困ったときの確認方法や解決方法を説明します。

3.1	トラブル対処の方法 .....	80
3.2	RAID 構築時／再構築時のトラブル .....	81
3.3	ファイルを削除しても空き容量が増えない .....	82
3.4	パソコンの IP アドレスがわからない .....	83
3.5	パソコンの IP アドレスを設定する .....	84

## 3.1 トラブル対処の方法

---

本商品を使っていて困ったときは、次のステップに従って対処方法を確認してください。

STEP1	<b>「詳細設定ガイド」(本書)で設定を再確認する</b> 管理者などに問い合わせる
-------	---

それでも解決できないときは…



STEP2	<b>本章の「Q&amp;A」を確認する</b> 🔍 P.81 「3.2 RAID 構築時/再構築時のトラブル」 🔍 P.82 「3.3 ファイルを削除しても空き容量が増えない」 🔍 P.83 「3.4 パソコンのIPアドレスがわからない」 🔍 P.84 「3.5 パソコンのIPアドレスを設定する」
-------	--

それでも解決できないときは…



STEP3	<b>コレガホームページ (<a href="http://corega.jp/">http://corega.jp/</a>) の情報を活用する</b> 本商品の最新情報やよくあるお問い合わせ、最新ファームなどを提供しています。
-------	--

それでも解決できないときは…



STEP4	<b>コレガサポートセンタに問い合わせる</b> 連絡先は「取扱説明書」の裏表紙をご覧ください。
-------	---

## 3.2 RAID 構築時／再構築時のトラブル

RAID 構築時のトラブルは、次の内容を確認してください。

現象	RAID 構築中にハードディスクを取り外してしまった
対処方法	<p>ホットスワップに対応しているため、通常は再度ハードディスクを装着すると自動的に再構築が始まります。もし、再構築が正常に行われなときは、本商品を再起動してください。再起動後、再構築を開始します。</p> <p> P.54 「1.9.8 再起動／シャットダウン設定」</p>
現象	ハードディスクが故障した
対処方法	<p>ハードディスクが故障すると、HDD Status LEDが赤色に点灯します。この場合は、ハードディスクを交換してください。交換するハードディスクは、同一メーカー、同一型番のハードディスクをお使いください。</p> <p> 「取扱説明書」 「2.2 ハードディスクを装着する」</p>
現象	RAID の再構築が自動で始まらない
対処方法	<p>ホットスワップに対応しているため、通常は再度ハードディスクを装着すると自動的に再構築が始まります。もし、再構築が正常に行われなときは、本商品を再起動してください。再起動後、再構築を開始します。</p> <p> P.54 「1.9.8 再起動／シャットダウン設定」</p>

## 3.3 ファイルを削除しても空き容量が増えない

---

本商品はゴミ箱機能に対応しています。ファイルを削除した場合、ファイルは各フォルダ内のゴミ箱フォルダに移動します。ファイルを完全に削除して空き容量を増やす場合は、ゴミ箱フォルダでファイルを削除してください。

 P.68 「2.2 ゴミ箱機能について」

## 3.4 パソコンの IP アドレスがわからない

お使いのネットワークの設定や、設定用パソコンの IP アドレスがわからない場合は、次の手順で調べてください。

### ■ Windows の場合

- 1 「スタート」 – 「すべてのプログラム」 (Windows2000 では「プログラム」) – 「アクセサリ」 – 「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
- 2 「ipconfig /all」と入力して Enter キーを押します。
- 3 IP アドレスを確認します。
  - Windows Vista  
「IPv4 アドレス」に表示された数字が設定用パソコンの IP アドレスになります。
  - Windows XP/2000  
「IP Address」に表示された数字が設定用パソコンの IP アドレスになります。
- 4 お使いのネットワークの設定を確認します。
  - Windows Vista  
「DHCP 有効」が「はい」の場合は IP 自動取得に、「いいえ」の場合は IP 固定設定になります。
  - Windows XP/2000  
「DHCP Enable」が「Yes」の場合は IP 自動取得に、「No」の場合は IP 固定設定になります。

### ■ Macintosh の場合 (10.4 以降)

- 1 アップルメニューをクリックして「システム環境設定」を選択します。
- 2 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
- 3 無線をお使いの場合は「Air Mac」を、有線でお使いの場合は「内蔵 Ethernet」を選択し、[設定]をクリックします。
- 4 「TCP/IP」タブをクリックし、「IPv4 を設定」をクリックします。
- 5 「IPアドレス」に表示された数字が設定用パソコンの IP アドレスになります。
- 6 お使いのネットワークの設定は「IPv4 を設定」が「DHCP サーバを参照」の場合は IP 自動取得に、「手入力」の場合は IP 固定設定になります。

## 3.5 パソコンの IP アドレスを設定する

お使いのパソコンの IP アドレスを設定する手順を説明します。

### ■ Windows Vista の場合

- 1 「スタート」アイコンー「コントロールパネル」ー「ネットワークインターネット」ー「ネットワーク共有センター」の順にクリックします。



「ネットワークとインターネット」が表示されていない場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックして手順 2 へお進みください。

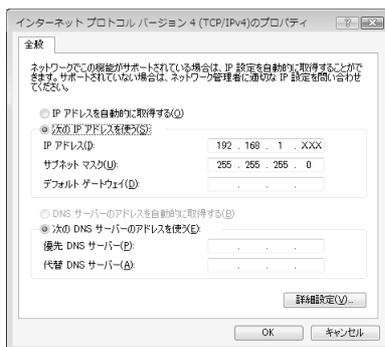
- 2 画面左から「ネットワーク接続の管理」をクリックします。
- 3 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 4 「ユーザアカウント制御」画面が表示されますので、[ 続行 ] をクリックします。
- 5 「この接続は次の項目を使用します」の一覧から「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、[ プロパティ ] をクリックします。



IP アドレスが自動取得の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されています。

- 6 IP アドレスを固定設定にしたい場合は、「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスを入力します。

本商品の IP アドレスの初期値は「192.168.1.210」ですので、例として IP アドレスは「192.168.1.XXX」、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します (XXX は 1 ~ 245 のうち、ほかの機器で使用していない数字)。



- 7** [OK] または [閉じる] をクリックし、「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」 - 「ローカルエリア接続のプロパティ」の順に画面を閉じます。

### ■ Windows XP の場合

- 1** 「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワークとインターネット接続」 - 「ネットワーク接続」の順に選択します。



「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリ表示を切り替える」を選択します。

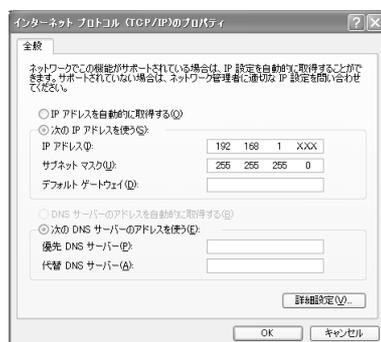
- 2** 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- 3** 「この接続は次の項目を使用します」の一覧から「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。



IP アドレスが自動取得の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されています。

- 4** IP アドレスを固定設定にしたい場合は、「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスを入力します。

本商品の IP アドレスの初期値は「192.168.1.210」ですので、例として IP アドレスは「192.168.1.XXX」、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します (XXX は 1 ~ 245 のうち、ほかの機器で使用していない数字)。



- 5** [OK] または [閉じる] をクリックし、「インターネットプロトコルのプロパティ」 - 「ローカルエリア接続のプロパティ」の順に画面を閉じます。

## ■ Windows 2000 の場合

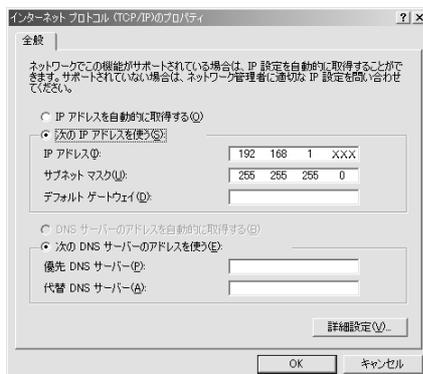
- 1 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」の順に選択します。
- 2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。
- 3 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- 4 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。



IP アドレスが自動取得の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されています。

- 5 IP アドレスを固定設定にしたい場合は、「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスを入力します。

本商品の IP アドレスの初期値は「192.168.1.210」ですので、例として IP アドレスは「192.168.1.XXX」、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します (XXX は 1 ~ 245 のうち、ほかの機器で使用していない数字)。



- 6 [OK] をクリックし、「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」-「ローカルエリア接続のプロパティ」の順に画面を閉じます。

## ■ Macintosh の場合（10.4 以降）

- 1 アップルメニューをクリックして「システム環境設定」を選択します。
- 2 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
- 3 「内蔵 Ethernet」を選択し、「設定」をクリックします。
- 4 「TCP/IP」タブをクリックし、「IPv4 を設定」をクリックします。



IP アドレスが自動取得の場合は「DHCP サーバを参照」が選択されています。

- 5 IP アドレスを固定にしたい場合は「手入力」を選択し、IP アドレスを入力します。

本商品の IP アドレスの初期値は「192.168.1.210」ですので、例として IP アドレスは「192.168.1.XXX」、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します（XXX は 1～245 のうち、ほかの機器で使用していない数字）。



- 6 「今すぐ適用」をクリックしたあと、画面を閉じてください。



# 付録

RAID についての説明を記載しています。

RAID とは .....	90
おことわり .....	94

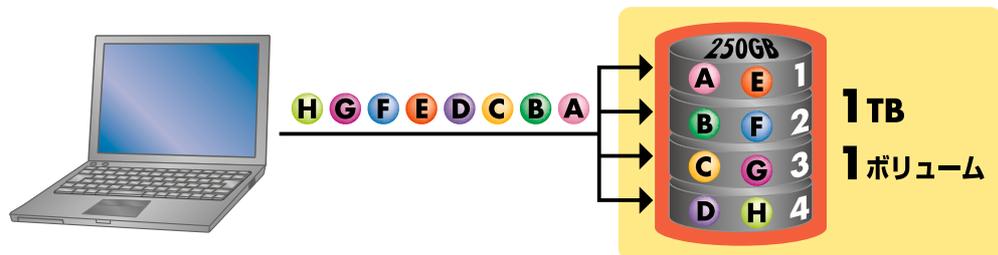
# RAID とは

RAID は「Redundant Array of Inexpensive Disks」の略称で「レイド」と呼びます。複数台のハードディスクを並列に接続して、1 台のハードディスク装置のように管理することで、アクセスを高速化したり、障害への耐久性を向上させたりできます。

RAID には高速性や安全性によっていくつかのレベルがありますが、本商品は RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10 に対応しています。それぞれの概要を説明します。

## ■ RAID 0

RAID0 は、複数台のハードディスクにデータを分散して書き込みます。このため「ストライピング」とも呼ばれています。複数台のハードディスクに分散してデータを読み書きしますのでアクセスが速くなります。ただし、1 台でもハードディスクに障害が発生した場合、データを再生成する機能はありませんので、データの読み書きができなくなります。



図では、本商品で 4 台のハードディスクを RAID0 で 1 ボリューム作成する例を示しています。4 台のハードディスクを 1 台とみなして使用しますので、使用できる容量はハードディスク 4 台分（1 テラバイト）になります。

A から H のデータを書き込む場合、A の部分はハードディスク 1 に、B の部分はハードディスク 2…というように書き込まれます。そのため、万が一ハードディスク 1 に障害が発生した場合には、データの A と E の部分が失われてしまいますので、データは復旧できなくなります。

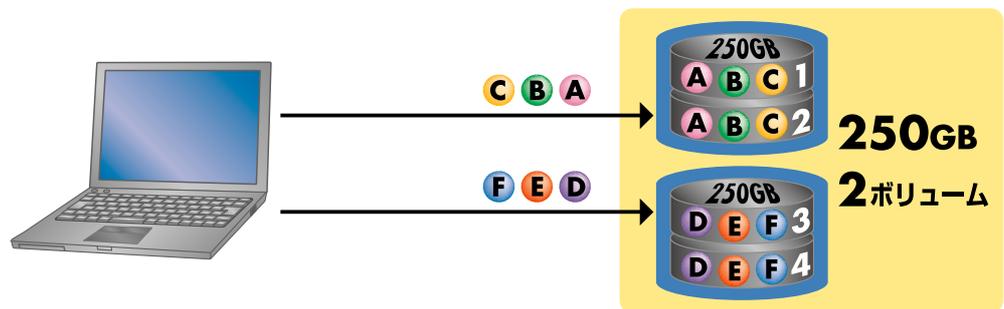
### RAID 0 の特長

容量	高速性	安全性
◎	◎	△

## ■ RAID 1

RAID1 は、2 台のハードディスクに同じデータを書き込みます。このため「ミラーリング」とも呼ばれています。1 台のハードディスクに障害が発生しても、もう 1 台のハードディスクに同じデータがあるため、ハードディスクを入れ替えることでデータを再生成することができ、安全性が高いといえます。同じデータを書き込むため、アクセス速度は 1 台のときとそれほど変わりません。

使用できるハードディスクの容量は、「搭載する中でもっとも容量の少ないハードディスク」になります。



図では、本商品で 2 台のハードディスクを RAID1 で 2 ボリューム作成する例を示しています。2 台のハードディスクに同じデータを書き込みますので、使用できる容量はハードディスク 1 台分 (250 ギガバイト) になり、それが 2 ボリューム分になります。

A から C のデータを書き込む場合、A から C のすべてのデータをハードディスク 1 と 2 に書き込まれます。そのため、万が一ハードディスク 1 に障害が発生した場合にも、A から C のデータはハードディスク 2 で読み書きできます。また、ハードディスク 1 を取り替えることで RAID1 を復旧できます。ただし、ハードディスク 1 と 2 に障害が発生すると、データが復旧できなくなる可能性があります。D から F のデータは同様の動作でハードディスク 3 と 4 に書き込みます。

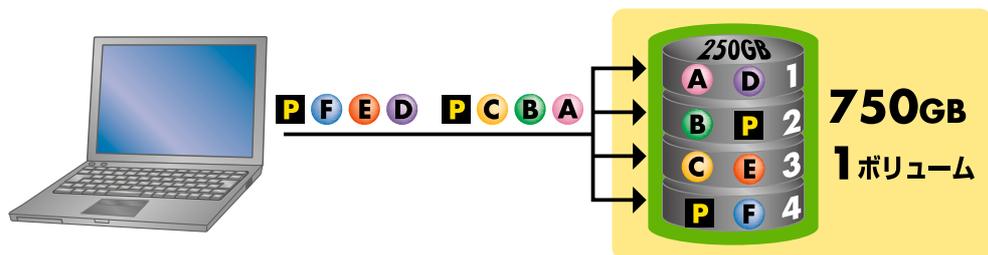
### RAID 1 の特長

容量	高速性	安全性
△	△	○

## ■ RAID 5

RAID5 は、データからパリティ（誤り訂正符号）を生成し、データとともに複数のドライブに分散して書き込みます。1 台のハードディスクに障害が発生しても、ほかのハードディスクにデータとパリティがあるため、ハードディスクを入れ替えることでデータを再生成することができ、安全性が高いといえます。ただし、パリティを生成しながらデータを書き込むのでアクセス速度は少し遅くなります。

使用できるハードディスクの容量は、「搭載するもっとも容量の少ないハードディスク×（台数 -1）」になります。



図では、本商品で 4 台のハードディスクを RAID5 で 1 ボリューム作成する例を示します。4 台のハードディスクを 1 台とみなして 1 台分の容量をパリティとして使用しますので、使用できる容量はハードディスク 3 台分（750 ギガバイト）になります。

A から F までのデータを書き込む場合、A の部分はハードディスク 1 に、B の部分はハードディスク 2 に、C の部分はハードディスク 3 に、ABC から生成したパリティはハードディスク 4 に…というように書き込まれます。そのため、万が一ハードディスク 1 に障害が発生した場合にも、ハードディスク 2 の B の部分とハードディスク 3 の C とハードディスク 4 の ABC から生成したパリティで A の部分を再生成できます。また、ハードディスク 1 を取り替えることで RAID5 を復旧できます。ただし、2 台以上のハードディスクに障害が発生すると、データが復旧できなくなる可能性があります。

### RAID 5 の特長

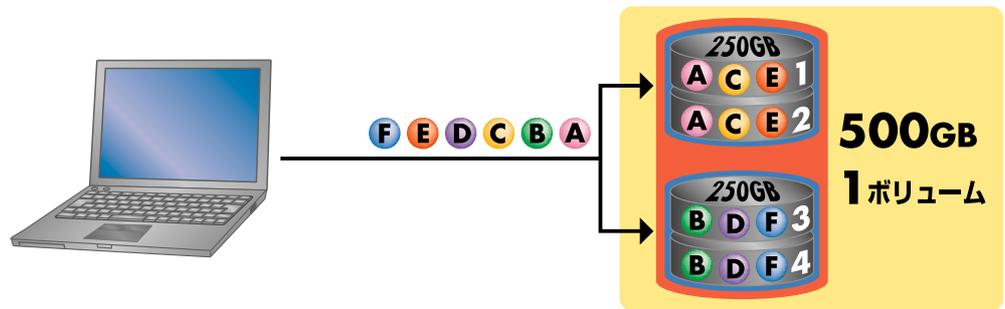
容量	高速性	安全性
○	△	○

## ■ RAID 10

RAID10 は、RAID0 と RAID1 を組み合わせて、ミラーリングしたボリュームをストライピングします。このため「ミラーセットのストライピング」とも呼ばれています。複数台のハードディスクに分散してデータを読み書きしますのでアクセスが速くなります。

1 台でもハードディスクに障害が発生した場合、データを再生成する機能はありませんので、データの読み書きができなくなります。

使用できるハードディスクの容量は、「搭載するもっとも容量の少ないハードディスク×台数÷2」になります。



図では、本商品で 4 台のハードディスクを RAID10 で 1 ボリューム作成する例を示しています。4 台のハードディスクのうち 2 台ずつに同じデータを書き込むため、使用できる容量はハードディスク 2 台分（500 ギガバイト）になります。1 台のハードディスクに障害が発生しても、ほかのハードディスクにデータがあるため、ハードディスクを入れ替えることでデータを再生成することができ、安全性が高いと言えます。

A から F のデータを書き込む場合、A の部分はハードディスク 1 と 2 に、B の部分はハードディスク 3 と 4…というように書き込まれます。そのため、万が一ハードディスク 1（または 2）とハードディスク 3（または 4）の 2 台ハードディスクに障害が発生した場合でも、データを復旧することができます。ただし、ハードディスク 1 と 2（または 3 と 4）の 2 台のハードディスクに障害が発生した場合は、データを復旧することができません。

### RAID 10 の特長

容量	高速性	安全性
○	○	◎

## おことわり

---

- ・本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・改良のため商品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Copyright©2007 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2007年 7月 初版